

小茂根一丁目町会

当町会の沿革は、昭和31年根ノ上親交会として発足、その後昭和34年根ノ上町会と改称、昭和39年の東京オリンピック当時環七も開通し、商店街も出来て人口も増加と発展の一途を辿っており、昭和40年5月の住居表示の施行に伴い、当時小山・茂呂・根ノ上の各町会が小茂根となり、環七の東側の茂呂も含めて小茂根一丁目となりました。

その後地下鉄有楽町線小竹向原駅ができ、交通の利便が良くなりマンションやアパートが急増し、世帯数も今では約2,500世帯と益々発展しております。

現在町会の組織は、7事業部と15地区部により構成されており、全役員一体となって年間各種事業を行っており、町会員も積極的に参加し安心安全な街づくりに尽力しています。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています